

平成 21 年度 教育奨励賞

教育奨励賞規則に基づき、平成 21 年度教育奨励賞（2 名）を決定いたしました。

平成 22 年 2 月 1 日

社団法人 化学工学会 人材育成センター

教育奨励賞

寺坂 宏一氏（慶應義塾大学）



〔教育業績〕

受賞者は、今日に至るまでの 16 年間の大学学部ならびに大学院における化学工学教育の中で、独自に教材・テキストを作成し、講義・演習に使用するとともに、授業において PDCA サイクルが回るユニークなシステムを取り入れるなどして、化学工学の基礎を重視した独創的で萌芽的な教育活動を行なってきた。また、当該大学の教育に貢献するのみならず、執筆したテキストにより他大学の教育への貢献、また、Excel 講習会を通して社会人の人材育成にも貢献している。それらの活動は、高く評価されるものであり、ここに化学工学教育奨励賞を受賞するにふさわしい人物として認められる。

〔受賞者略歴〕

Koichi TERASAKA（正会員）

- 1984 年 3 月 慶應義塾大学工学部応用化学科卒業
- 1986 年 3 月 慶應義塾大学大学院工学研究科応用化学専攻修士課程修了
- 1986 年 4 月 旭硝子(株)入社
- 1991 年 3 月 慶應義塾大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士課程修了
- 1991 年 4 月 鐘淵化学工業(株)生産技術研究所
- 1992 年 4 月 慶應義塾大学理工学部応用化学科 助手
- 1995 年 4 月 慶應義塾大学理工学部応用化学科 専任講師
- 1995 年 9 月～1996 年 8 月
ブラウンシュバイク工科大学 客員教授
- 2000 年 4 月 慶應義塾大学理工学部応用化学科 助教授
- 2007 年 4 月 慶應義塾大学理工学部 准教授
- 2008 年 4 月 慶應義塾大学理工学部 教授

連絡先；〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1
慶應義塾大学理工学部応用化学科

E-mail； terasaka@applc.keio.ac.jp

URL； <http://www.applc.keio.ac.jp/terasaka/>

〔主な業績〕

- 1) 化学工学を題材にした Excel 演習テキストを作成し、学生ならび社会人の計算能力の向上に努めた
- 2) 大学院の反応装置工学の授業において、a) プロセス設計理論学習、b) プロセス見学、c) プロセス計算演習の PDCA サイクルを導入した授業を実施している

教育奨励賞

二井 晋氏（名古屋大学）



〔教育業績〕

受賞者は、1994 年より現在に至るまで大学教員として、移動現象、物質移動、工業化学など化学工学関連の教育に真摯に取り組んできている。その中で、「化学工学第三版一解説と演習」や「化学プロセス工学」という教科書の編纂・執筆に携わり、国内全体の化学工学教育に積極的に貢献するとともに、学内では、毎回の授業において学生たちに 3 行コメントを提出させ、そのコメントをまとめて、次回の授業に反映させるという地道だが労力のかかる授業手法を長年にわたり実施してきており、学内の教育貢献度評価でも高い評価を得ている。これらの活動は、化学工学会においても高く評価されるものであり、ここに化学工学教育奨励賞を受賞するにふさわしい人物として認められる。

〔受賞者略歴〕

Susumu NII（正会員）

- 1989 年 名古屋大学工学部化学工学科卒業
- 1994 年 名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了
- 1994 年 名古屋大学大学院工学研究科 助手
- 2002 年 名古屋大学大学院工学研究科 助教授
- 2007 年 名古屋大学大学院工学研究科 准教授

連絡先；〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科

E-mail； nii@nuce.nagoya-u.ac.jp

URL； <http://www.nuce.nagoya-u.ac.jp/L2/>

〔主な業績〕

- 1) 化学工学の教科書の編纂・執筆を通して、全国の化学工学教育に貢献した
- 2) 3 行コメントの独自の FD システムを構築し長年にわたり実施してきた
- 3) 学内の自己点検評価において教育貢献度の高い評価を得ている